



平成30年10月29日

各 位

上場会社名 TOWA株式会社
 代表者 代表取締役社長 岡田 博和
 (コード番号 6315)
 問合せ先責任者 経営企画本部長 柴原 信隆
 (TEL 075 - 692 - 0251)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月10日に公表いたしました平成31年3月期第2四半期(累計)期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,700	2,000	2,000	1,450	57.98
今回修正予想(B)	15,290	870	950	880	35.19
増減額(B-A)	△1,410	△1,130	△1,050	△570	
増減率(%)	△8.4	△56.5	△52.5	△39.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	15,605	2,491	2,471	1,657	66.27

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,500	4,000	4,000	2,900	115.96
今回修正予想(B)	31,300	1,900	2,000	1,600	63.98
増減額(B-A)	△2,200	△2,100	△2,000	△1,300	
増減率(%)	△6.6	△52.5	△50.0	△44.8	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	31,010	3,682	3,540	3,026	121.02

平成31年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,200	1,000	700	27.99
今回修正予想(B)	13,270	50	35	1.40
増減額(B-A)	△1,930	△950	△665	
増減率(%)	△12.7	△95.0	△95.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	14,331	1,373	1,101	44.06

平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,500	2,000	1,400	55.98
今回修正予想(B)	26,000	200	150	6.00
増減額(B-A)	△4,500	△1,800	△1,250	
増減率(%)	△14.8	△90.0	△89.3	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	28,475	1,741	2,082	83.25

修正の理由

上半期におきましては、NAND型フラッシュメモリーの価格下落や仮想通貨用半導体需要の急減にともない各社の設備投資が減速したこと等により、売上高が公表値を下回る見込みであります。また、メモリーメーカーの生産調整やスマートフォン需要の減速にともない、付加価値の高い製品の売上構成比が低下したことや、一部顧客の特殊仕様対応のための費用増等により、収益が悪化したため各段階利益も公表値を下回る見込みであります。

下半期における売上高は、レーザ加工装置事業の追加による増加はあるものの、米国と中国の貿易戦争により顧客の設備投資判断に慎重な姿勢が現れる等、半導体製造装置の市場環境に減速感と不透明感が生じているため、当初予想を下回る見込みです。また、売上高の減少に加え、顧客の設備投資が抑制される環境下において競合他社との価格競争がより激しくなることが予想されるため、収益につきましても当初予想を下回る見込みです。

以上の結果、当社は上記のとおり第2四半期(累計)期間及び通期の業績予想を修正することと致しました。

なお、当期末の配当予想につきましては、平成30年5月10日に公表しました内容(1株につき16円)から修正はございません。

※本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上